

愛知県豊田市

中心市街地活性化基本計画概要

【4期計画:令和5年4月～令和10年3月】

【目指す中心市街地の都市像】

緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創造

【自治体の概要】 人口:418,736人(R4.6.1・住民基本台帳)、面積:918.32km²

・本市は愛知県のほぼ中央に位置し、人口41.8万人の県下第2位の中核市である。前進である挙母町は黎明期であった自動車産業の積極的な誘致に取り組み、自動車産業の発展にあわせて産業集積を図ってきた結果、わが国を代表する産業拠点までに成長し、中部圏経済を支える中核的都市となっている。

【中心市街地の課題等】

- 1)居住人口の転出超過 中心市街地人口は、近年頭打ちとなっており、市外への転出増など本格的な減少へと転じる恐れがある。
- 2)中心市街地商業の衰退 新型コロナウイルスの影響等もあり、中心市街地大型店売上高の急減、空き店舗数の急増など、空洞化が一気に進む恐れがある。
- 3)地域経済への還元性の低さ 都市再生法人の収益・組織が脆弱であり、イベントなど公共空間活用による地域経済への波及が弱い。
- 4)都市機能の分散・老朽化 超高齢社会に適合した交通結節機能の強化やペDESTリアンデッキなど既存ストックの老朽化などが進んでいる。
- 5)新たな社会潮流への対応 若年人口や事業所(昼間人口)の減少、DX、脱炭素、SDGsなど中心市街地に求められる新たな役割への対応が求められている。

※歩行者通行量(休日) R1:102,478人/日→R3:66,023人/日(▲35.5%)

※中心市街地大型店売上高 R1:154.7億円→R3:99.6億円(▲55.1億円)

【計画目標と数値】

5つの目標	目標指標	基準値 (R3)	推計値 (R9)	目標値 (R9)
1. まちなかの定住者を増やす	居住人口の 社会増減数	▲49人	▲59人	108人
2. 日常生活を支える商業の再生				
3. エリアマネジメントの推進	歩行者 通行量(休日)	16,186人 /日	18,759人 /日	19,380人 /日
4. プレイスメイキングの推進				
5. まちなかでの創業の推進	創業者数	3件/年	9件/年	12件/年

【中心市街地活性化の5つの方針】

方針1.【居住】選ばれる住まい・まちづくり

低未利用地を活用した共同住宅誘導など転出を抑制する居住環境整備を図る
⇒目標:まちなかの定住者を増やす(目標指標:居住人口の社会増減数)

方針2.【商業】日常ニーズを満たす商業まちづくり

広域集客だけでなく普段づかいのできる商業機能の充実を図る
⇒目標:日常生活を支える商業の再生(目標指標:歩行者通行量(休日))

方針3.【まちづくり】民主導の市民が主役のまちづくり

公共的空間活用への民間参入と再投資を促し公民一体の取組を進める
⇒目標:エリアマネジメントの推進(目標指標:歩行者通行量(休日))

方針4.【都市機能・交通】多様な空間構成による居心地のいいまちづくり

既存ストック・機能の維持・集約・活用による多様な人が集う空間を構築する
⇒目標:プレイスメイキングの推進(目標指標:歩行者通行量(休日))

方針5.【産学官連携】教育機関や企業と連携した新たなまちづくり

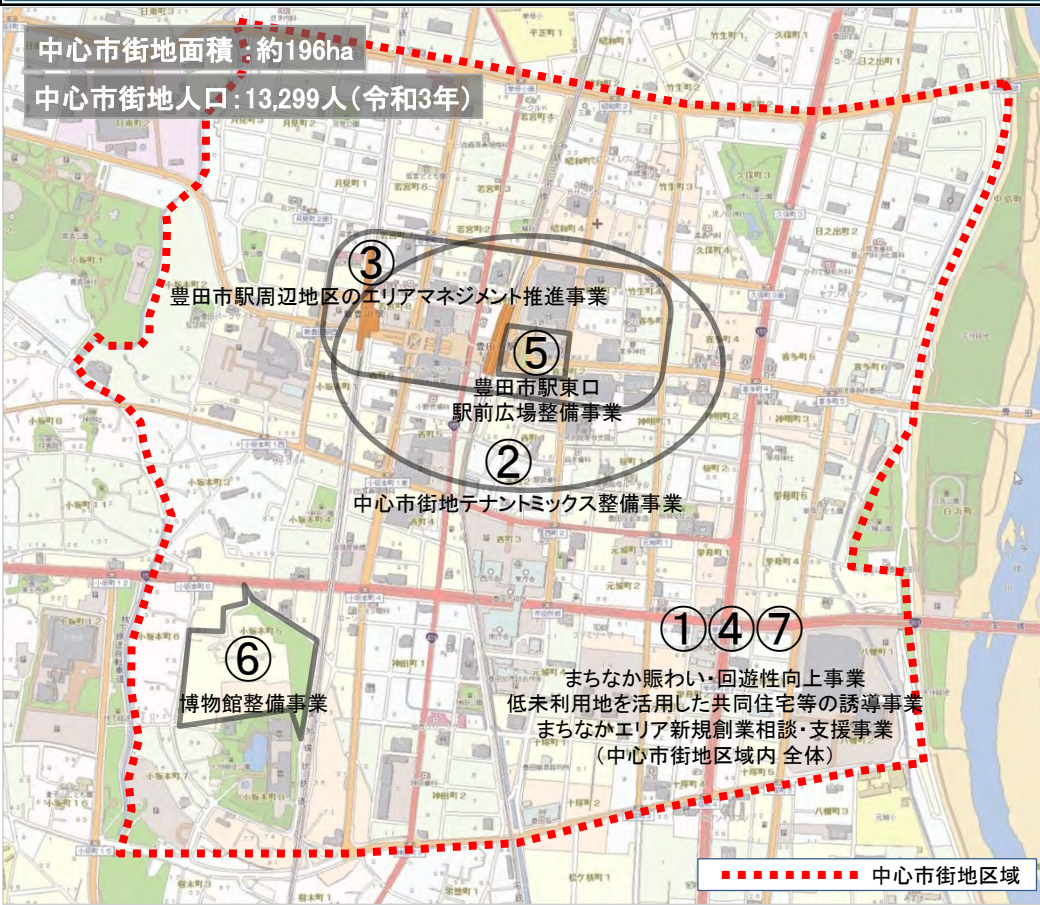
新たな担い手との連携による新機軸となる都市ポテンシャルを発揮する
⇒目標:まちなかでの創業の推進(目標指標:創業者数)

【前期計画目標と数値】

目標	目標指標	基準値	目標値
まちなかにぎわい創出	歩行者通行量(昼間9～17時)	31,507人 (H28)	32,584人 (R4)
	フリーパーキング対象駐車場の総利用時間	601万台・時間 (H28)	700万台・時間 (R4)
公民連携による活性化	公共的空間の利用率	27.2% (H28)	36.5% (R4)

豊田市中心市街地活性化基本計画の事業概要

中心市街地面積：約196ha
中心市街地人口：13,299人(令和3年)



方針1【居住】選ばれる住まい・まちづくり

①低未利用地を活用した共同住宅等の誘導事業
低未利用地を活用し共同住宅等を誘導することにより定住者を増やす



方針2【商業】日常ニーズを満たす商業まちづくり

②中心市街地テナントミックス推進事業
豊田市中心市街地テナントミックスビジョンに基づき、中心市街地大型商業施設が一体となってひとつの商業モールとして機能するよう、テナントリーシングやテナントミックス推進における課題を共有する



方針3【まちづくり】民主導の市民が主役のまちづくり

③豊田市駅周辺地区のエリアマネジメント推進事業
豊田市駅周辺地区のステークホルダー等が連携してエリアの魅力化、快適性の向上等をめざし、屋外空間等を活用する事業の検討・実施



④まちなか賑わい・回遊性向上事業
地域事業者、公共施設、メディア関係者等で構成する「中心市街地まちなか宣伝会議」が情報発信、集客イベント等を合同で実施



方針5【産学官連携】教育機関や企業と連携した新たなまちづくり

⑦まちなかエリア新規創業相談・支援事業
新しく事業を始めようとする者を対象に、経営者や専門コンサルタントにより、創業に必要な事柄を集中的に一貫して支援新たな事業所の増加を図る



方針4【都市機能・交通】多様な空間構成による居心地のいいまちづくり

⑤豊田市駅東口駅前広場整備事業
現在の駅前広場を刷新し、グラウンドレベルでのにぎわいづくりに向けて、歩行者空間整備を行い魅力のある都市空間を創出する



⑥博物館整備事業
歴史・文化財や関連する自然についての展示、学習支援・調査・研究、収集を推進する博物館の整備により、多様な人々が集う場づくりを図る

